

GREEN RADAR

重点事業方針 A-Policy

- ・長野県産農産物を安心して全国に届けるため、
段ボールの品質管理を徹底しています
- ・大切な方を亡くされたご遺族の悲しみに寄り添う・・・
『グリーンフサポート』の取組みについて

■ 中期事業計画 (平成28～30年度)

Vol.442
MARCH 2016

3



段ボールの徹底した品質管理



光と風と水のハーモニー

JA全農長野

包装資材課

長野県産農産物を安心して全国に届けるため、 段ボールの品質管理を徹底しています

物流のあらゆる場面で用いられている段ボール。この段ボールの機能としては、「輸送・保管する際の内容物の保護機能」「荷扱いの利便性機能」「内容表示による情報提供機能」などが上げられます。

段ボールは様々な用途で用いられますが、青果物の取扱いで用いられる段ボールは、降雨の中での収穫等、過酷な気象環境下で用いられる場面も多く、一般的な段ボール以上の耐水性や耐圧強度が求められます。万が一、強度不足等で段ボールが歪み破損すると、青果物の商品価値を下げることに繋がります。また、青果物に直接触れる資材であるため、食品安全性についても留意する必要があります。

全農長野県本部包装資材課では、JIS規格や食品衛生法を踏まえ、独自に制定した「段ボール品質管理手続き」および「農産物出荷用資材の安全性確認手続き」に基づいた厳格な品質管理により、安心して長野県産農産物を全国に届けられるよう日々努めています。今回は、品質管理および食品安全性管理についての取組みを紹介します。

■全農 営農・技術センターでの品質検査および品質管理検討会

当県本部では、段ボールメーカー5社へ製造委託をしています。導入している製造機械は各社様々であるため、系統段ボールとしての品質の維持向上を図ることを目的に、各メーカー担当者立会いの

下、全農 営農・技術センター（平塚市）

の試験室にて品質検査および品質管理検討会を毎年実施しています。本年度は1月に、耐圧強度や剥がれ試験、材質・坪量検査等を行うとともに、各メーカー担当者を交えて改善点や品質向上について意見交換をしました。

■製造ロット毎の品質確認書類の提出

メーカーに対し、製造時5,000枚／ロット以上については、耐圧強度等の品質確認書類の提出を求め、不具合品発生 の未然防止を図ります。

■段ボールメーカー相互試験

各社間で相互的に品質検査を年4回実施しています。客観的な視点と公平性を期して検査・検証することで、全体の品質レベルの底上げを目指します。

■JA在庫採取試験

JA在庫からの採取試験を年15品目で実施しています。納品後の品質検査を行うことで、表示材質との整合性や保管環境の適正を検証します。

■工場の製造ラインへの立ち入り検査

随時、メーカーの製造ラインへ立会い、貼合・製函工程を点検し、適切な品質管理が行われるように指導を徹底しています。

■新段ボール導入時の輸送試験

新たな寸法規格やコスト低減のための材質変更の際には、導入前に必ず輸送試験を行います。圃場での箱詰作業、集荷

所での荷扱い、卸売会社担当者の意見収集等を行い、場合によっては実需者まで追跡調査を実施します。

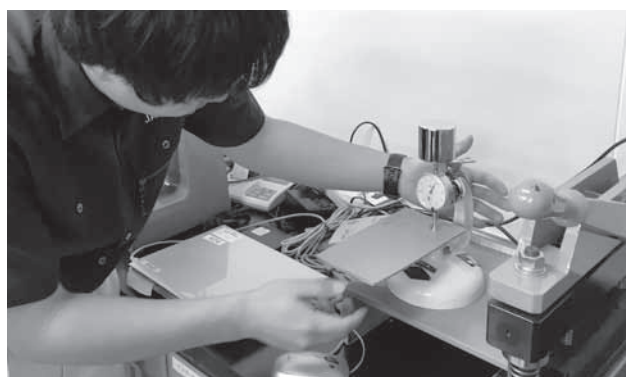
■食品安全性の観点での品質管理

青果物用段ボールは、食品に直接触れる出荷容器包装であるため、食品安全性の確認が求められます。独自に定めた「農産物出荷用資材の安全性確認手続き」に基づき、重金属や蛍光物質などの項目について、行政登録の検査機関による検査結果等の提出を取扱先に求めます。その上で、食品安全性が確認できた段ボールのみを取扱うこととしています。

ご紹介した試験の他にも、全国段階においては段ボール原紙の品質検査等を実施しています。これらの試験を通じて品質管理に万全を期すことで、系統段ボールの優位性を維持しています。今後も、一層の品質レベルの向上を目指すと共に、コスト低減や販売促進に繋がる付加価値の付いた段ボールの開発に努めていきます。



試験段ボールを実際に使用した輸送試験



規定のシート厚になっているか計測



輸送試験で現行段ボールと試験段ボールを比較



段ボールの耐圧強度試験



圃場での箱詰め作業確認

生活課
〔株長野エコーブスライ〕

大切な方を亡くされたご遺族の悲しみに寄り添う… 『グリーンフサポート』の取組みについて

【葬祭事業を取り巻く情勢】

全国・長野県ともに人口は減少傾向にありますが、65歳以上の高齢者数は増加傾向にあります。長野県における65歳以上の高齢者数の割合は、平成12年に2割を超え、平成27年には3割に達しました。全国的に高齢化が進むとともに死亡者数は増加しており、死亡者数のピークは平成51年（2039年）と推測されています。死亡者数の増加に伴い葬儀施行件数は拡大していますが、金額ベースでの葬儀市場規模は、葬儀の小規模化等により微増にとどまっていると言われています。葬儀の小規模化の動きは長野県にも急速に波及しており、小規模化による葬儀施行単価の下落⇨収益減少とならないための施策と葬儀施行件数の確保・拡大施策が急務となっています。

『長野県JA葬祭虹のホールグループ』では、こうした情勢に対応すべく様々な活動を展開していますが、葬祭事業に携わる者として決して欠かすことのできない『グリーンフサポート』の取組みについて

をご紹介します。

『グリーンフサポートとは？』

『グリーンフ（悲嘆）』とは、死別によって引き起こされる様々な感情や思考・行動が「閉じ込められた状態」（自分の殻の中にしまい込んでしまう状態）になることで、『グリーンフサポート』はこの「閉じ込められた状態」の感情や思考・行動を「自分らしく」表現できるように寄り添い、支えることを言います。

グリーンフ状態にある人が悲しみと折り合いをつけるためには、死別が現実であることを自分の殻の中にしまい込まずに表現する、心の痛みをきちんと把握するなど乗り越えなければならないことがあります。これをサポートするサービスが葬祭事業に携わる者には必要であり、次の取組みを通じてご遺族の心のケアを行っています。

【エンディングサポートの取組み】

故人の尊厳を守り、ご遺族の最後のお

別の際に、より良いイメージを持ってお別れいただくことを最大の目的として、ご遺体のメイクや修復処置を（株）長野エコーブスライ社員が行っています。

平成22年度から5年間の累計施術件数は1,680件、平成28年度1月末時点の施術率（葬儀施行件数に占める施術の割合）は21・6％となりました。東日本大震災や御嶽山噴火の際には、現地で犠牲になった方に、メイクなどのご遺体処置も行ってきました。

【虹の花束コンサート』の開催】

今年度で5回目の開催となったこのコンサートは、「大切な方を亡くされたご遺族の皆様のために、JAグループとして何かできることはないだろうか」という想いから始まったクラシックコンサートです。7月から翌年6月までの1年間に虹のホールグループで葬儀を施行されたご遺族をご招待し、毎年11月に長野・松本の2会場で開催しています。来場者数は年々増加しており、今年度は長野会

場（長野県県民文化会館）698名、松本会場（まつもと市民芸術館）577名、合計1,275名の方に来場いただきました。

来場者からのアンケートでは、「すべての曲が主人を思い出させ涙が出てしまいました」「心のこもった演奏に感激しました」「とても心が休まり、寂しさを前向きにさせていただいた」等の言葉をいただき、このコンサートの趣旨を充分に伝えることができたのではないかと思います。来年度もグリーンフサポートの一環として開催する予定です。

【オリジナル会葬礼状の取組み】

「世界にたったひとつの会葬礼状」として本年度から取組みを始めました。礼状は、専門スタッフが故人の思い出話などを電話で聞き取り、それを文章に起こして作成します。これが「グリーンフサポート」につながる理由は、文章作成時の電話取材によってご遺族が故人のことを話す機会が生まれ、自分の中の悲しみを外に表現するきっかけとなるからです。顔が見えない電話だからこそ、周りを気にせず話すことができたというご遺族の方もおられ、悲しみへの寄り添い方のひとつとなっています。



和やかな雰囲気で行われる「虹の花束コンサート」



「日だまりのような笑みは皆の胸にいつまでも…」

農機具の営業や修理のために奔走していた頃、父の手はいつも油で真っ黒でした。作業着に付いた汚れは頑張りの熱意だったといっても過言ではありません。来る日も来る日も機械と向き合っていた姿がまぶたに浮かびます。どんな困難にぶつかろうとも全力で励めたのは、家族の笑顔が原動力になっていたからなのでしょう。一線を超えてからは母と二人で菊の栽培に専念し、お客様に喜んで頂くことと試行錯誤しておりました。身体が動く限りはと現役を貫き懸命に頑張ってくれたと、本当に感謝しています。

穏やかな性分が表れたかのような花の彩りも、時間を見つけては機械いじりをしていた面影も、決して忘れません。

父は、平成二十七年 月 日、満 歳にて人との縁を育みながら生きた日々を暮らしました。

営業畑にいたからでしょうか、周りとのつながりが何にもまさる財産になると知っていたのだと思います。地域の皆様と共に過ごす時間を大切に、人生に彩りを添えてまいりました。

そんな父の歩みを支えお力添え下さった方々へ、深く感謝申し上げます。本日はご多用の中、ご会葬を頂き誠にありがとうございます。ごさいました。略儀ながら書状にて謹んでお礼申し上げます。

平成二十七年 月 日

長野県 喪主 外 親戚一同

尚、本日は何かと混雑に振り回され居るの故あしかず「ご容赦下さいませ」ようお願い申し上げます。

オリジナル会葬礼状

やすらぎの旅立ちを精一杯の真心でお手伝いいたします。

長野県JA葬祭虹のホールグループ

選ばれています、安心と信頼の実績。
心に寄り添うからこそできる、想いを込めた葬祭をお手伝い。

長野県内49斎場のネットワーク

年中無休24時間体制で対応させていただきます

組合員・地域のみなさまへ

安心・真心・JA葬祭

●ご入会いただくと、ホールなど利用の際に各種特典が受けられます。●当会員制度は定期積金契約「JA貯金」です、そのため積立金は全額戻ってきます。●またJAIにより入会金方式の制度もございます。

長野県 JA葬祭 虹のホールグループホームページをご覧ください。虹のホール

会員募集中

検索

中期事業計画 (平成28～30年度)



続いています。加えて、肥料・農薬、飼料などの生産資材価格の高止まりや、気候変動による生産への影響が大きくなり、農業所得の安定的な確保が課題となっています。

T P P交渉では、国会決議とはかけ離れた重要5品目を含めた大幅な市場開放が急展開で大筋合意されたことで、広範な農畜産物が市場開放され、国内農業へ極めて大きな影響を与えることが予測される事態となりました。また、政府は今年度一部改正した農協法のなかでJ Aグループに対し、農業所得の増大に最大限の配慮を求めるとともに、農協・連合会の組織変更を可能とするなど、組織運営の基本にかかわる制度を導入しました。

このような環境のもと全農長野県本部は、「J A長野県長期構想・後期中期計画」における営農・経済事業の指針となる「中期事業ビジョン」(平成28～30年度)を基本に、J A・県域および子会社と統一した戦略のもと、効率的一体的事業運営体制により、農業所得の増大と地域の活性化に取り組みます。

更に、県本部グループのガバナンス体制・コンプライアンス態勢の再構築、

県本部総合経営管理体制の堅持により、部門別事業競争力強化と経営基盤の確立をはかり、県域結集の拡大と結集成果を反映したJ A・組合員へのメリット還元に努めます。

【事業運営の基本目標】

1. 長野県農業生産基盤強化と信州ブランドの確立
2. 営業力強化による顧客確保と仕入強化および生産流通コスト削減による生産者手取り最大化
3. J A・県域・子会社の一体化による営農・経済事業の競争力強化と経営収支の確立

【経営管理の基本】

経営管理体制の高度化と県本部総合経営管理体制の堅持

Ⅲ 経営方針

1. 総供給販売高計画(年度別)

平成28年度	2, 715億円
生産販売部	1, 552億円
生産購買部	384億円
畜産酪農部	303億円
生活部	476億円
平成29年度	2, 721億円
生産販売部	1, 601億円

生産購買部	363億円
畜産酪農部	299億円
生活部	458億円
平成30年度	2, 733億円
生産販売部	1, 613億円
生産購買部	373億円
畜産酪農部	295億円
生活部	452億円

※総供給販売高には内部販売を含みます。

※29・30年度計画は年度毎に見直します。

2. 税引前当期利益
3億2千万円(税引後1億9千万円)とします。

3. 奨励施策

施策の選択と集中をはかり、事業基盤の確立と担い手総合支援対策に資する重点的・効率的な事業奨励とします。

4. 事業管理費
業務の効率化により事業管理費の圧縮に努めます。

5. 機構・要員

J A・子会社との一体的な事業運

営・農業生産基盤強化・販売力強化等の確実な実践に向け、J A・子会社との人事交流も含め効率的な事業体制と機能発揮に向けた機構・要員配置とします。

6. 施設投資・システム開発・外部出資

財務の健全性を基本に置き、事業の将来展望・戦略性および必要性・費用対効果・緊急性を十分検討し、投資回収基準(3年単黒・5年累積解消・10年投資回収)に沿ってすすめます。

Ⅳ 事業方針

1. J A長野県営農事業

- (1) 生産基盤の強化に向け農業振興ビジョンの実践およびJ A推進体制整備をすすめ、新規就農者も含めた多様な担い手の育成を支援します。
- (2) 中心的な担い手に対してはJ Aと県域が出向く体制を強化し総合的な支援を実施するとともに、労働力確保対応等の体制整備を検討します。
- (3) 農業所得の増大に向け、多収穫省力型栽培など新技術の開発と研究、商品化率の高い品目(品種)の選定・誘導と定着化をすすめます。また、

施設化栽培等の拡大に向けた支援策を展開します。

- (4) 営農技術員サポートセンターによる営農技術員向けのボトムアップ研修等を開催し、担い手のニーズに対応できる営農技術員を育成するとともに、広域専門指導体制の整備をすすめます。
- (5) 「J A長野県営農指導者会議」専門部4ブロック毎の現地検討会・研修会等により技術・販売・資材情報共有化などを行い、相互研鑽と品目別振興方策の統一した推進体制を強化します。
- (6) 「G A P手法(農業生産工程管理)」の更なる高度化をすすめ、安全で安心な信州農産物の生産・供給体制を拡充します。

2. 生産販売事業

- (1) 販売と連動した計画生産や、適地適作に基づいた商品提案のため、良質な種苗等の供給、多収穫・省力栽培の導入、施設化推進等により生産基盤の維持・拡大をすすめます。
- (2) 多様な生産者へ状況に応じた生産・販売企画提案や、新たな生産・販売体制の構築により系統集荷の向上をはかります。

3. 生産購買事業

- (1) 生産購買事業は、系統結集による仕入機能の強化、メリットの価格折込と安定供給を基本とし、農家組合員ニーズに応える競争力ある製品の開発供給をすすめます。また、農業所得向上におけるトータルコスト削減と担い手対応への強化に取り組みます。

- (2) 包装資材事業は、販売部署と連携した包材提案を通じて、生産者・実需者ニーズへの対応を積極的にすすめます。また、計画購買の実践

による配送・製造コストの低減をはかるとともに、品質安全性に配慮した青果物包装に取り組めます。

(3) 生産資材事業は、予約購買の強化を基本に競争力ある資材価格の実現と低コスト・省力型資材の計画的な普及に取り組めます。また、担い手経営体に訴求した資材(「わたしの肥料」・大型規格農薬など)の提案推進をすすめ、併せて合理的な物流(メーカー・県域からの直行配送)によるメリット拡大をすすめます。

- (4) 農業機械事業は、重点機種買取購買をすすめる価格機能を強化するとともに、中古農機の流通促進、レンタルの事業化など、農機のコスト低減に取り組めます。協同経営は、重点購買と業務の標準化・合理化を一層すすめる、収支確立と組合員満足度の向上を目指します。
- (5) 施設住宅事業は、施主代行を事業の基本とした提案型の事業推進を行い、一級建築士事務所による専門性を発揮した設計・工事監理業務を中心に取り組み、農業施設の高度化・再編をすすめるとともに、組合員の土地活用支援と住環境改善事業に取り組めます。

長野県が日本一の生産量を誇るアネモネやダリアの出品数も多く、花木類ではレンギョウやマツの入賞もあり、高品質で多彩な切り花や花木類が県下で栽培されていることを来場者に知っていただく良い機会とな



近隣小学生を対象に花育教室



保育園児も見学

長野県が日本一の生産量を誇るアネモネやダリアの出品数も多く、花木類ではレンギョウやマツの入賞もあり、高品質で多彩な切り花や花木類が県下で栽培されていることを来場者に知っていただく良い機会とな

また、販売用フラワーアレンジメントの作製や併催した近隣小学生への花育教室では、県内生産者の活躍が定着してきており、保育園児の招待では、県内JA営農担当者が花の紹介をするなど、花の生産に携わる関係者の力を結集してのフラワーショーとなっています。今後も長野県産花き類の生産振興と生産技術の向上、消費拡大につながる取組みを進めます。

▼野菜花き課

農林水産大臣賞はJA上伊那の(有)末広農園(アルストロメリア)が受賞

「第47回 信州フラワーショー ウィンターセレクション」開催



農林水産大臣賞を受賞した(有)末広農園のアルストロメリア「ピンクティアラ」

第47回信州フラワーショー ウィンターセレクション入賞者

賞				入賞者			
農林水産大臣賞	品目名	品種名	受賞者	JA名			
農林水産省生産局長賞	アルストロメリア	ピンクティアラ	(有)末広農園	上伊那			
農林水産省生産局長賞	アルストロメリア	バービー	(農)らいつ	上伊那			
農林水産省生産局長賞	アルストロメリア	バリ	(有)信州グリー	上伊那			
農林水産省生産局長賞	アルストロメリア	ミストラブルラス	芳澤 拓美	信州諏訪			
農林水産省生産局長賞	アルストロメリア	白蝶	宮下 明三	みなみ信州			
農林水産省生産局長賞	アルストロメリア	サマリノ	畑 輝章	佐久浅間			
農林水産省生産局長賞	アルストロメリア	モナリザ	阿部 長衛	信州諏訪			
農林水産省生産局長賞	アルストロメリア	マッサ	小笠原秀樹	上伊那			
農林水産省生産局長賞	アルストロメリア	レコード	西村 幸恵	上伊那			
農林水産省生産局長賞	アルストロメリア	プリマドンナ	古畑 英俊	松本イランド			
農林水産省生産局長賞	アルストロメリア	スコーピオン	中原 睦男	上伊那			
農林水産省生産局長賞	アルストロメリア	チェリッシュ	永井 智	上伊那			
農林水産省生産局長賞	アルストロメリア	ハニーソフィア	伊藤 哲	上伊那			
農林水産省生産局長賞	アルストロメリア	リファイン	飯島 俊英	上伊那			
農林水産省生産局長賞	アルストロメリア	ジャイアントレンギョウ	須田 民恵	佐久浅間			
農林水産省生産局長賞	アルストロメリア	ミルキーランブル	林 洋一	みなみ信州			
農林水産省生産局長賞	アルストロメリア	ピンクティアラ	小澤 信義	佐久浅間			
農林水産省生産局長賞	アルストロメリア	アイスクリーム	飯沼 輝雄	上伊那			
農林水産省生産局長賞	アルストロメリア	ミストラブルラス	平出 千里	信州諏訪			
農林水産省生産局長賞	アルストロメリア	ミストラブルラス	柴田千代子	佐久浅間			
農林水産省生産局長賞	アルストロメリア	東海桜	花里 綱人	佐久浅間			
農林水産省生産局長賞	アルストロメリア	ジャイアントレンギョウ	柳澤 源悟	信州諏訪			
農林水産省生産局長賞	アルストロメリア	ピンクサブリナ	倉田 久造	上伊那			
農林水産省生産局長賞	アルストロメリア	ピンクティアラ	赤羽 今男	上伊那			
農林水産省生産局長賞	アルストロメリア	ゴールド	吉澤 栄二	上伊那			
農林水産省生産局長賞	アルストロメリア	ピンクティアラ	久保田卓二	上伊那			
農林水産省生産局長賞	アルストロメリア	マドリッド	久保田卓二	上伊那			
農林水産省生産局長賞	アルストロメリア	ヒナジ	井口 明夫	上伊那			
農林水産省生産局長賞	アルストロメリア	フライングナイト	篠原 万郎	信州諏訪			
農林水産省生産局長賞	アルストロメリア	ハミルトンジュニア	多田 頼充	みなみ信州			
農林水産省生産局長賞	アルストロメリア	カリヨンエター	久保田 寛	ちくま			
農林水産省生産局長賞	アルストロメリア	モナリザ	伊藤 佐九次	信州諏訪			
農林水産省生産局長賞	アルストロメリア	ジャイアントレンギョウ	市川 征一郎	佐久浅間			
農林水産省生産局長賞	アルストロメリア	マッサ	佐々木敏正	佐久浅間			

4. 畜産酪農事業

(1)販売数量確保のため、素畜および乳用後継牛の供給体制を強化し、空き畜舎の活用による生産基盤の維持と関係機関と連携した生産性向上指導に取り組めます。

(2)「信州産」畜産物のブランド力強化のため、新たな販売方式の取り組みと新規取引先への販売促進に努めます。

(3)安全安心で特色ある「信州産」牛乳・乳製品の商品開発に取り組み、生産から小売までが一体となった酪農理解醸成活動を強化するとともに、消費者に新たな食べ方・調理法等を提案し、消費拡大に取り組めます。

(4)飼料コスト削減のため、地域の実情に応じた飼料用米流通体制の構築に取り組み、農家所得の向上をはかります。

(5)地域畜産酪農営農センターの機能強化と新たな地域畜産酪農営農センターの設置をすすめ、生産性向上に取り組めます。

(6)県本部生産農場は、ET技術や多産系母豚の活用、初妊牛供給機能の強化により、素畜および乳用後
5. 生活事業

(1)燃料卸事業は数量を背景とした仕入強化と、出荷基地分散化による安定供給確保に取り組めます。石油事業はマスタープランに基づく拠点再配置等の実践と、JA域を越えた広域戸配送を検討します。LPガス事業はモデル事業での実践を踏まえた小売体制構築と、県域保安センター設置を検討します。

(2)SS協同経営事業は、SS競争力強化の実践とSS運営体制の見直しを行うため、教育・研修の強化ならびに加盟・脱退基準の整理をすすめるとともに、お客様視点に立ったサービスの提供とJAらしい魅力ある事業展開をはかり、地域の組合員ならびに利用者に愛される店舗づくりに努めます。

(3)自動車事業は、買取購買車事業の継続と拡販をすすめるとともに、JAの自動車事業の専門株式会社化、または条件が整った上で(株)ジェイエイオート長野との事業統合を検討します。

(4)宅配事業は、JA宅配の特長である
6. 経営管理

(1)県域結集と事業競争力の強化によるJA・組合員へのメリット還元を基本とする長野県本部総合経営管理制を堅持します。

(2)事業環境の変化を踏まえ、県本部機能に見合う部門別収支の検証と

「おまかせコース」を強化し、利用戸数の維持および戸当たり利用単価の確保による収支改善をすすめます。物流事業は、JAMマスタープランに基づく、JA事業拠点への商品供給を存続します。組織事業は、取扱品目の選択と集中をすすめ、組合員のニーズに即した品目により、事業強化と効率化をすすめます。家庭事業は、利用者の健康維持管理のサポートをする「健康増進事業」としての配置家庭菜の普及推進体制を強化します。

(5)セレモニ事業は、葬儀の小規模化・簡素化、個性化や民間葬儀会社との競合激化に対応するため、「JA総合事業」と「JA虹のホールグループ」が連携する葬儀相談体制の強化をはかり、次世代のJA組合員(利用者)につながる事業体制を構築します。

(6)子会社は内部統制システムの整備によるコンプライアンス態勢の一層の強化と県域でのJA経済事業補完機能の強化をすすめ、健全経営を基本とした経営管理を行います。

(4)総合経営管理体制を担う多様な雇用形態による業務体制を維持するとともに、職員の能力開発・育成をはかり、JA・子会社との一体的事業遂行のためのバランスの取れた年齢構成による要員体制を確立します。

(5)JA長野県グループおよび行政機関等との連携を強化し、効果的な広報活動と、地域に貢献する組織広報をすすめます。

(6)子会社は内部統制システムの整備によるコンプライアンス態勢の一層の強化と県域でのJA経済事業補完機能の強化をすすめ、健全経営を基本とした経営管理を行います。

元気な産地づくりを目指して

ＪＡ長野県青年部協議会との意見交換会を開催

全農長野県本部は2月5日(金)、ＪＡ長野県ビルでＪＡ長野県青年部協議会(県青協)との意見交換会を開きました。県青協からは役員、各ＪＡの単組部長や事務局、当県本部からは小林哲男副本部長以下、関係部課長や生産販売部門に携わる職員ら関係者57名が出席しました。

冒頭、県青協の永沢誠一会長より「農業情勢の先行きは不透明だが、将来にわたり営農を続けられるよう、一致団結して有意義な会にしたい」、小林副本部長より「全国的に農業の生産力が落ちていくなか、県内では技術革新が実を結びつつあるが、環太平洋連携協定(TPP)が発効した場合の影響は大きい。皆さんと手を携え、地に足の着いた努力をしながら県内農業の発展を目指したい」とあいさつがありました。

まず当県本部より、次期中期事業ビジョン(平成28～30年度)として本年策定した事業戦略について説明しました。農業生産の拡大と農業所得の増大を目指す事業戦略として、営農指導体制の強化、需要変化に連動する販売力増強、生産コスト増対策などを挙げました。これに

応する具体策として、出向く

営農指導のできる営農技術員育成、顧客から求められる品目・数量・品質の確保と提案営業強化、トータルコストの低減などに取り組みと述べました。また、SNS等の新しいメディアも活用して長野県産農産物のブランドを強化し、消費者に向けて広く発信していく「総合消費宣伝事業」を紹介しました。

意見交換で県青協側からは、「高いレベルの営農指導」「多様化した顧客ニーズの見える化」「価格安定に向けた取り組みの拡大」「輸出が手取り向上に結び付く体制整備」「規模拡大、作業効率化をしやすい」など、様々な意見や要望が出され、当県本部からはそれぞれに対する考えを説明しました。

会場ロビーでは、平成27年度農畜産物宣伝事業の実績や、担い手向けの生産資材等を展示し、会場内では、県本部が原料供給等で商品企画に関わったジュースや牛乳、菓子を試食するなど、県本部事業を多角的に紹介しました。



挨拶をする県青協の永沢会長



ロビーでの展示

3月の動き

企画課	3月16日(水)、17日(木)	子会社臨時株主総会・取締役会 JA長野県ビル、JA中信会館
総務広報課	3月20日(日)	松本山雅FCホームゲーム 「きのこ、信州ポークPRイベント」 アルウィン
果実課	3月9日(水)、10日(木)	第10回JAグループ 国産農畜産物商談会 東京ドームシティ プリズムホール
果実課	3月12日(土)、13日(日)	ふるさとの食につぼんの食 全国フェスティバル NHK放送センター、代々木公園(東京・渋谷)
JA長野県 農産物PR 協議会		

2017年度
新採用職員
募集

明日の食と農を支えるチカラ
募集します。

応募方法など詳細が決まり次第ホームページ等でお知らせいたします。
<http://www.nn.zennoh.or.jp/>

信州

光と水とのハーモニー
JA全農長野

お問い合わせ先
総務課人事課 浦野・神山(どうやま)
〒380-8614 長野市大字南長野北石堂町1177番地3
TEL026-236-2160 E-mail nn-jinji@nn.zennoh.or.jp

福岡販売事務所移転のお知らせ

全農長野県本部福岡販売事務所は、2月12日(金)の福岡市中央卸売市場移転に伴い、2月3日(水)より新事務所にて業務を開始しました。
JR千早駅(福岡駅より3駅目)、もしくは西鉄千早駅からタクシーで約15分、博多湾の海上、アイランドシティにて販売事務所職員一同お待ちしております。

住所▶〒813-0019 福岡県福岡市東区みなと香椎3丁目1番1号
福岡市中央卸売市場 青果市場会館棟2階(部屋番号213番)
電話番号▶092-410-8981 FAX番号▶092-410-8984



3月のテレビ・ラジオ番組表

放送日時	放送局	番組名	放送内容(予定)
3/1(水) 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	松本山雅牛乳キャンペーン告知
3/4(金) 10:30	SBCラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりでい内「花のある純喫茶・坂橋克明」	信州産花木類と花にまつわるストーリー
3/8(水) 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	酪農家訪問
3/15(水) 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	乳和食レシピ紹介
3/22(水) 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	牛乳クイズ
3/23(水) 11:50	SBCラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりでい内「暮らしの応援団」	農業機械課からのお知らせ
3/29(水) 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	牛乳料理について(1級フードアナリスト中島麻希さん出演)

編集後記

「リーグが開幕します。今シーズンも、松本山雅FCを支援させていたただくことになりました。」

「1に復帰するための長く厳しいシーズンになると思います。全農長野県本部はクラブへの支援を通じて、元気で活力ある信州に少しでも貢献できればと考えています。」

「今年のチームスローガンは「One Soul 新・起動」。新たなステップへの第一歩のシーズンとして、位置づけるこのことです。」

「私たちJAグループも、クラブと置かれている状況がかぶっているかもしれません。一緒に「新・起動」の新年度となるよう努力したいと思っています。」

(Y)

酪農課 牛乳を飲んで松本山雅FCを強くしよう!

松本山雅牛乳『頂を目指せキャンペーン』

全農長野県本部酪農課は、「松本山雅牛乳 頂を目指せキャンペーン」を行います。松本山雅牛乳を飲んで!バーコードを集めて!奮ってご応募ください。

●賞品…5月3日(火・祝)13:00キックオフ

松本山雅FC×セレッソ大阪

S席ペア観戦チケット…10組20名様

●応募方法…松本山雅牛乳のパッケージについているバーコードを切り取り、5枚一口として店頭の専用応募用紙に必要事項をご記入の上、封書にてご応募ください。

●応募締切…平成28年3月31日(木) 当日必着

●宛先・お問い合わせ先…〒380-8614 長野市大字南長野北石堂町1177番地3
JA全農長野 酪農課 TEL.026-236-2382



小平奈緒は、 「信州」を食べて 育ちました。

スピードスケート
小平奈緒 選手
所属:相澤病院(松本市)



グリーンリーダー3月号(毎月発行) 2016年2月20日発行 第442号
発行/ JA全農長野 長野市大字南長野北石堂町1177番地3 発行人/高木幸一郎 印刷/PO印刷株式会社 長野市青木島3丁目3番地3



光と風と水のハーモニー

JA全農長野



JA全農長野ホームページ <http://www.nn.zennoh.or.jp>
インターネットで産地直送「JAタウン」 <http://www.ja-town.com>

